

## お知らせとお願い

鹿児島市立病院では、以下の研究を実施しておりますのでお知らせいたします。  
本研究の対象者に該当する可能性があると思われる方で、本研究に関するお問い合わせや調査の対象となることを希望されない場合は、以下の問い合わせ先にご連絡ください。

研究課題名	周産期医療・新生児蘇生時の遠隔診療支援の効果
実施予定期間	倫理審査委員会承認後 ～ 2025年3月31日
研究の対象	(対象期間・対象診療科・対象疾患) 2023年1月1日～2023年12月31日に鹿児島市立病院で出生した在胎36週以上の方 ただし、2023年7月6日以降に出生した方については、研究参加の同意をいただいた方を研究対象としています。
使用する情報等	在胎週数、体重、病名、新生児蘇生処置の内容、呼吸管理の有無（有の場合：使用機器（人工呼吸器、CPAP、HFNC）、酸素投与の有無）、児のバイタルデータ（体温、呼吸数、心拍、血圧、SpO2）、NICU入院の有無 等
研究の概要	人口減少社会で出生数は減少傾向ですが、生殖補助医療の普及によりハイリスク分娩は依然として発生しています。その中で日本の分娩は自宅や助産所から産科クリニックや病院へ集約化されてきました。逆に集約化されている周産期医療を地域医療で効率的にon demandで利用する仕組みがあっても良いと考えています。 鹿児島市立病院では新生児蘇生法に習熟した専門医師の支援が必要な場合、電話で連絡して対応する仕組みがあります。今回、さらに音声とビデオが利用できる医療用アプリケーションを用いる支援方法を構築したいと考えています。この支援方法の有用性が確認されれば、遠隔診療支援として、集約化されている周産期医療を地域医療に効率的に利用することに繋がると期待されます。
倫理審査	鹿児島市立病院治験及び臨床研究審査委員会承認され、病院長の許可を受けて実施しています。
個人情報の保護	収集する情報項目に氏名や住所は含まれません。研究対象者の識別は研究目的に特別に割り振られた研究番号を使って管理し、対応表を作成します。対応表が院外に出ることはありません。
研究計画書等の閲覧等	研究計画書及び研究の方法に関する資料を他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で閲覧できます。詳細な方法に関しては以下の問い合わせ先にご連絡ください。
結果の公表	研究結果は国内外学会での発表及び論文として関係雑誌に投稿予定です。
知的財産権	本研究により得られる知的財産権は本研究グループの研究者に帰属します。
研究の資金源	株式会社アルムから研究資金・医療関係者間コミュニケーションアプリ（Join（汎用画像診断装置用プログラム））の提供を受けて実施します。
利益相反	当院の研究責任者および分担者は、鹿児島市立病院COI委員会に必要事項を申告し、審査と承認を得ており、利益相反マネジメントを適正に行っています。
お問い合わせ先・相談窓口	病院ホームページにおいて研究について公開し、問い合わせ等に応じて、患者さん等からのご希望があれば、その方の情報は研究に利用しないようにします。 なお、既に解析・発表公開後のデータ等については、その方のデータ削除の措置が困難になる場合があります。 研究への使用の拒否の意思を表明されても、鹿児島市立病院における診療には全く何の影響もなく、いかなる意味においても不利益をこうむることはありません。

<p>研究責任者 氏名：平川 英司                      所属：新生児内科 連絡先：鹿児島市立病院 〒890-8760 鹿児島市上荒田町37番1号 TEL：099-230-7000（代表） FAX：099-230-7111</p>
-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------